

災害用トイレトラックを導入します



災害が起きたとき、避難所で大きな問題となるのが「トイレ」です。トイレトラックは、車両に複数の洋式トイレを備えた移動式のトイレで、洋式トイレ4室に加え、電動車いすリフター・オストメイト対応設備・おむつ交換台・ベビーキープを備えた多機能トイレ1室の計5台のトイレを備えています。発災時には、避難所など必要な場所へ移動して使用することができます。また、市内での災害対応だけでなく、全国で大規模な災害が発生した際に被災地へ派遣し、被災者を支援することもできます。

災害時に誰もが安心してトイレを使用できる環境を確保するため、市では地域の皆さんとともに災害への備えを進めていきます。

☎地域安全課防災係 (☎042-387-9806)



導入に向けて、クラウドファンディングにご協力ください



支援の証しとして、名前を車両へ掲載

導入に向けて、市ではふるさと納税を活用したクラウドファンディングで、この取り組みへ賛同いただける全国の個人・法人から広く寄附を募ります。

■目標金額500万円

■特典 1万円以上の寄附で、希望により車体背面へ名前、企業名などを掲載※寄附金額により掲載サイズが変動します。詳細は市ホームページをご確認ください

- ☑個人、法人
- ☒他▷本プロジェクトへの返礼品はありません
▷市民もふるさと納税および名前の掲載が可能です
▷寄附は2,000円から可能です
- ☒10月15日～令和9年1月15日に、個人はさとふるクラウドファンディングから、法人は市申込フォームで※いずれも市ホームページに掲載有り

新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設方針の見直しについて



新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設は、建設工事費の大幅な上昇により、学校施設長寿命化をはじめとした施設の老朽化対策と合わせて非常に大きな財政負担となる見通しとなったことから、現設計により3回目の入札をめざすことは断念せざるを得ず、方針を見直すこととしました。このことについて、9月1日に開催された令和8年第3回市議会定例会本会議において、市長報告を行いました。

今後は、新たな方針の検討に着手し、検討状況について、随時お知らせいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

☎企画政策課企画政策係 (☎042-387-9800)

従来の方針

実施設計まで完了している設計に基づき3回目の入札を行い、令和10年度（可能であれば令和9年度）の着工をめざしていました。

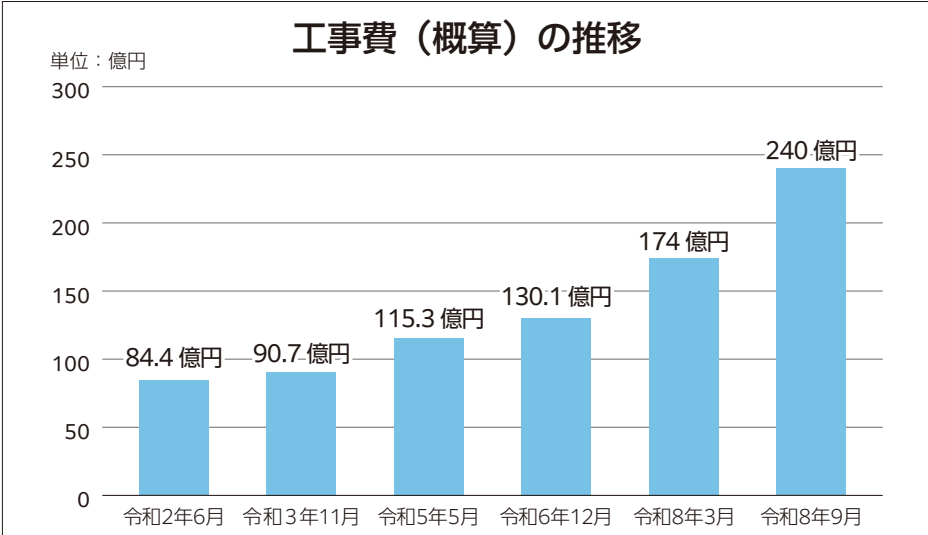
財政負担について

建設物価高騰の影響により、建設工事費が240億円程度まで上昇することを想定する必要があり、事業を進めるに当たっては、年間の公債費（借入額に対する返済額）の大幅な増額など、将来世代への財政的負担が非常に大きなものとなることが明らかとなりました。

今後の対応

施設の機能、規模、事業手法等について再検討を行い、令和9年3月に新方針を策定します。

その後、新方針に沿って事業を進めますが、現時点では基本設計からやり直すことを想定しており、着工は令和12年度以降になると見込んでいます。



※建設物価高騰等の影響により増額しています

プロセス図



方針の見直しにより基本設計からやり直すことを想定